

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Bコート

試合区分: No. 106 成年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 加藤昌樹

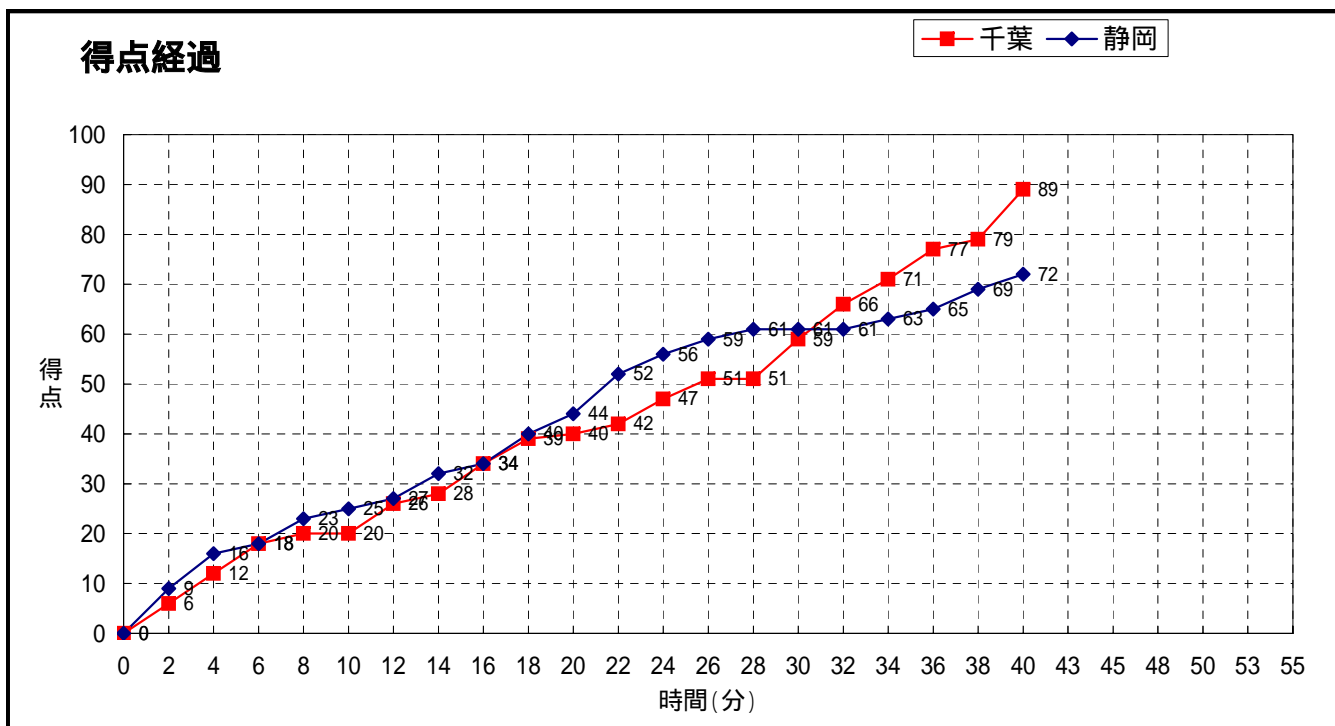
開始時間: 13:30

副審: 日野正哉

終了時間: 15:04

千葉						静岡									
89						72									
(関東)						(東海)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岡村 憲司	20	0	9	2	3	4	*	永田 道夫	8	0	4	0	4
5		清水 貴司	-	-	-	-	-	5	*	高村 成寿	13	0	6	1	4
6		子安 大輔	5	1	1	0	0	6		中西 恒彦	9	1	3	0	3
7		水野 宏隆	0	0	0	0	0	7		森下 貴之	8	0	3	2	2
8	*	高橋 亮介	12	1	4	1	2	8	*	一杉 京佑	8	2	1	0	2
9		中澤 光昭	0	0	0	0	1	9	*	内山 貴敏	12	2	3	0	3
10		勝山 祐樹	-	-	-	-	-	10		高橋 伸仁	0	0	0	0	0
11	*	黒田 裕	10	0	5	0	2	11		太田 友和	2	0	1	0	1
12	*	高木 賢伸	30	5	6	3	1	12		近藤 恭章	0	0	0	0	0
13		篠崎 要輔	0	0	0	0	0	13		戸塚 潤	3	1	0	0	0
14	*	梶原 剛	10	2	2	0	0	14	*	柴田 兼穂	2	0	1	0	2
15		秋元 啓人	2	0	1	0	0	15		江島 猛	7	1	2	0	2
コーチ		金子 英二						コーチ		木宮 敬信					
合計			89	9	28	6	9	合計			72	7	24	3	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。開始すぐ静岡#9内山の3Pシュートと#4永田のインサイドが決まる。千葉は#8高橋のカットインプレーで流れを変える。その後一進一退の攻防が続くが千葉の5点リードで終了。
 第2ピリオド、両チームともディフェンスの当たりが強くなる。両チーム共加点するが、静岡が徐々に点差をつめ、残り4分で34 - 34の同点となる。その後、静岡が#7森下の連続得点で流れをつかみ、44-40と逆転に成功して前半を終了した。
 第3ピリオド、静岡#5高村、#9内山のランニングプレーで点差を広げる。千葉も#4岡村のインサイドプレーと#12高木の3Pシュートで追い上げを見せ、61-59と静岡が2点リードで第3ピリオドを終える。
 第4ピリオド、千葉が#11黒田のシュートで同点とした後、#4岡村、#12高木の連続得点でリードする。静岡は千葉の3-2ゾーンをうまくくずせず開始3分間無得点。千葉は#4岡村、#12高木が着実に加点してリードを広げ、そのまま89-72で千葉が勝利した。

担当者: 長政 早織 (兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会